

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	平塚保育園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	5	1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	1,549.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	2	t
	総計(④=②+③)	70	t
	二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	43.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑩	排出量※1 (t) ⑪=⑩×④×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	6,796.5	45.00	305.8	0.014	15.3	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	109,629.0	9.76	1,070.0	0.489	53.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	1,375.8	⑮	68.9
その他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,512.0			0.251	0.9	
	公共下水道		☐	m ³	3,512.0			0.439	1.5	
合 計									⑯	2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川保育園									
事業所番号	A	0	9	3	1	—	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	1	1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	2,965.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		150	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	291	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	11	t
	総計(④=②+③)	302	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	98.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	26,683.9	45.00	1,200.8	0.014	59.9		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	473,812.5	9.76	4,624.4	0.489	231.7		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑪
合 計							⑪	5,825.2		⑪	291.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	16,816.0			0.251	4.2		
	公共下水道		☐	m ³	16,816.0			0.439	7.4		
合 計										⑫	11.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西大井保育園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	2	4
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	828.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	67	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	78.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	8,609.0	45.00	387.4	0.014	19.3
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	95,322.8	9.76	930.4	0.489	46.6
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	1,317.8	⑭	65.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,368.0			0.251	0.8
	公共下水道		☐	m ³	3,368.0			0.439	1.5
合 計								⑮	2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	源氏前保育園		
事業所番号	A	0 9 3 1	- 0 0 2 6
事業所等の所在地	〒	1 4 2	- 0 0 5 3 区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	742.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	66	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	86.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑩	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑩/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑪=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	6,547.2	45.00	294.6	0.014	14.7	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	102,398.0	9.76	999.4	0.489	50.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	1,294.0	⑮	64.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,390.0			0.251	0.9	
	公共下水道		☐	m ³	3,390.0			0.439	1.5	
合 計								⑯	2.3	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202 A203 A204	温暖化対策推進担当の配置 具体的な取組目標と内容の設定 取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
		D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	五反田保育園		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 4 9
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 2 2	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	1,100.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	30	kl
二酸化炭素排出量	②	59	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	③	2	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	④	61	t
総計(④=②+③)	⑤	53.6	kg-CO ₂ /m ²
二酸化炭素排出原単位	⑥		
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)	⑦		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧/1,000)×⑨
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	5,713.1	45.00	257.1	0.014	12.8
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	94,969.0	9.76	926.9	0.489	46.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬	1,184.0	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,588.0			0.251	0.9
	公共下水道	☐ m ³	3,588.0			0.439	1.6
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する
- ・エアコンを使用する場合は、子どもの健康に留意し、適正な温度設定をする
- ・園児の数により保育する部屋をまとめ、空き部屋は消灯する
- ・プールの水を使った打ち水を実施する
- ※子どもの安全確保を優先する
- ・衛生管理に注意した上で洗濯物

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	八潮北保育園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	7	7
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	0	3	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	745.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	66	t
	二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	87.2	kg・CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑤=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
									排出 係数 ⑧	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×④×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	5,237.3	45.00	235.7	0.014	11.8		
	その他(温水)			☐	MJ	448,400.0	1.36	609.8	0.060	26.9		
	その他()			☐		0.0						
	その他()			☐		0.0						
	その他()			☐		0.0						
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0			
		夜間(22時～翌18時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	54,995.0	9.76	536.8	0.489	26.9			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}					kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.489	⑬	0.0
合 計								⑭	1,382.3		⑮	65.5
そ の 他	水道及び工業用水道			☐	m ³	2,859.0			0.251	0.7		
	公共下水道			☐	m ³	2,859.0			0.439	1.3		
合 計										⑯	2.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×④とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備導入対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北品川第二保育園		
事業所番号	A 0 9 3 1	0 0 7 8	
事業所等の所在地	〒 1 4 0	0 0 0 1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	781.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	6	t
	総計(④=②+③)	132	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	161.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	41,805.9	45.00	1,881.3	0.014	93.8
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	66,323.3	9.76	647.3	0.489	32.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489
合 計					2,528.6		126.2
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	8,770.0			0.251	2.2
	公共下水道	☐ m ³	8,770.0			0.439	3.9
合 計							6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオルは来園者のみ使用
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御殿山すこやか園(五反田第二保育園+御殿山幼稚園)		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 7 9
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 0 1	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	1,458.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=①×0.0258)		1	33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	68	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	5	44.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑤	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑤	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑥	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑥×④×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	5,148.4	45.00	231.7	0.014	11.6
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	109,710.0	9.76	1,070.8	0.489	53.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬		⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,830.0			0.251	1.2
	公共下水道	☐ m ³	4,830.0			0.439	2.1
	合 計						⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×④とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	室温の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児の数により部屋をまとめる
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	就学前乳幼児教育施設(ぶりすくーる西五反田)		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 6 0
事業所等の所在地	〒 1 4 1 —	0 0 3 1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	999.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 9	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	34	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	65	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	1	t
総計(④=②+③)	66	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	65.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ①	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(①/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ④	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×④×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	14,828.5	45.00	667.3	0.014	33.3
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	66,875.0	9.76	652.7	0.489	32.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計					⑫	1,320.0	⑫
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,582.0			0.251	0.6
	公共下水道	☐ m ³	2,582.0			0.439	1.1
合 計							⑬

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×④とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他		特記事項に内容を記載			

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児が少ない時はまとめて、使用する部屋を限定する。
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大井在宅サービスセンター		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 2 9
事業所等の所在地	〒 1 4 0 — 0 0 1 4	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	781.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 3	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	89	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	112.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	7,154.2	45.00	321.9	0.014	16.1	
	その他(ガソリン)		☐	L	6,581.3	34.60	227.7	0.018	15.3	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	116,309.0	9.76	1,135.2	0.489	56.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	1,684.8	⑭	88.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,814.0			0.251	0.7	
	公共下水道		☐	m ³	2,814.0			0.439	1.2	
合 計									⑮	1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B102 B105	関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101 C109 C114	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止 事務用機器を省エネモードに設定	C112 C122 C115 C120	季節に応じた外気導入量の適正化 冷風と温風の混合損失の防止 事務用機器を業務終了時に停止 外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

①街路照明の深夜の消灯
 ②エントランス照明の夜間消灯
 ③照明灯の間引き
 ④室内照明の点灯時間短縮
 ⑤エアコンの設定温度の制限

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大崎在宅サービスセンター		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 6 7
事業所等の所在地	〒 1 4 1 —	0 0 3 2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	491.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 3	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	96	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	5	t
	総計(④=②+③)	101	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	195.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑧	係数 ⑨	熱量 (GJ) ⑩=(⑧/1000)×⑨	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑪	排出量 ^{※1} (t) ⑫=(⑪×⑧)×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	14,776.3	45.00	664.9	0.014	33.2	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	128,934.0	9.76	1,258.4	0.489	63.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑬	0.0	9.76	⑭	0.0	
合 計							⑮	1,923.3	⑯	96.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,701.0			0.251	1.9	
	公共下水道		☐	m ³	7,701.0			0.439	3.4	
合 計									⑰	5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑫=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:C115,116,117,120,129

① 毎週水曜日をノー残業デイに設定

② 照明灯の間引き⇒全館照明LED使用

③ 送迎車輛のアイドリング禁止

④ 日中の館内照明の調整

用の無い時間帯は節電モードになっております。

⑤ パソコンなどは使

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	戸越台在宅サービスセンター									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	7	6
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	4	1	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	7,060.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	87	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	170	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	5	t
	総計(④=②+③)	4	175	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	24.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	28,486.3	45.00	1,281.9	0.014	63.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	217,850.0	9.76	2,126.2	0.489	106.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						3,408.1		170.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,052.0			0.251	2.0
	公共下水道	☐	m ³	8,052.0			0.439	3.5
合 計								⑭ 5.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B102 B105	関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E126	窓際照明の連続調光制御

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択欄超過:C112,113,122,123,124,125,131,132,115,117,120,121,128,129
E109,111,129,133,135,139,124